

**日本銀行が外国中央銀行等から MX 電文を受信した場合に、オンライン取引先に対して送信する日銀ネット電文の
設定内容等に関する、日銀業第 646 号からの変更箇所について**

海外預り金に関する事務において、日本銀行が外国中央銀行等から MX 電文を受信した場合に、オンライン取引先に対して送信する日銀ネット電文の設定内容等について、ご参考までに先般公表した日銀業第 646 号からの変更箇所を送金種類毎に一覧化しましたので、別紙 1 および別紙 2 と併せてご確認ください（別紙 1 および別紙 2 における太枠部分および表下部の「*4」についての説明となります）。

別紙 1. 「顧客送金：CUSTOMER TRANSFER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」における変更箇所

項番等	項目群等	変更内容
15	項目「Transaction Identification」	日本銀行が外国中央銀行等から受信した MX 電文の該当項目に情報が設定されていなかった場合、値として「.」（半角ピリオド）を設定する。
19	項目群「Payment TypeInformation」中の項目群「LocalInstrument」に属する項目「Proprietary」	外国中央銀行等からの指図に基づいて UETR を設定する（現行の取扱いから不変であるものを明記）。
24-2 ～ 24-6	項目群「Charges Information」	項目「ChargeBearer」の内容が「CRED」または「SHAR」であった場合に、項目「Amount」（0 円）と項目群「Agent」（日本銀行の BIC コード）を設定する。
298 ～ 299	項目群「InstructionFor NextAgent」	最大繰返回数を、日銀業第 646 号で示した 4 回から 6 回に変更。
別紙 1 中、 表下部の *4	—	表中に設定する内容が特に記載されていない項目について、各項目における最大文字数は、CBPRPlus が定める入力可能文字数となる。

315 ～ 316 【別添】 402 ～ 423	項目群 「RelatedRemittance Information」	項目「RemittanceIdentification」について、名称が同じ項目群等が日銀ネット電文に存在しないものとみなす。この結果、項目群「RelatedRemittanceInformation」全体を、日銀ネット電文における項目群「RemittanceInformation」に属する項目「Unstructured」に設定する。
------------------------------------	---	--

別紙 2. 「金融機関間送金：BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」における変更箇所

項番等	項目群等	変更内容
15	項目「Transaction Identification」	日本銀行が外国中央銀行等から受信した MX 電文の該当項目に情報が設定されていなかった場合、値として「.」（半角ピリオド）を設定する。
19	項目群「Payment TypeInformation」 中の項目群 「LocalInstrument 」に属する項目 「Proprietary」	外国中央銀行等からの指図に基づいて UETR を設定する（現行から不変であるものを明記）。
191 ～ 192 【別添】 685 ～ 686	項目群 「InstructionFor NextAgent」	最大繰返回数を、日銀業第 646 号で示した 4 回から 6 回に変更。
別紙 2 中、 表下部の *4	—	表中に設定する内容が特に記載されていない項目について、各項目における最大文字数は、CBPRplus が定める入力可能文字数となる。
【別添】 315-2～315-4	項目群「Purpose」	名称が同じ項目群等が日銀ネット電文に存在しないため、日銀ネット電文における項目群「RemittanceInformation」に属する項目「Unstructured」に設定する。

以 上